

# 経済循環を促進するコミュニティ再興と 再エネ開発の取組みに学ぶ

#内発的發展  
#地域コミュニティ  
#関係人口



地元高校生との交流の様子

## DATA

- **主な連携先・メンバー**  
株式会社三河の山里コミュニティパワー／日本福祉協議機構／愛知県立足助高等学校
- **活動地域**  
愛知県豊田市足助地区
- **活動期間**  
2022年度～継続中
- **活動資金**  
地域連携活動に対する補助事業

## 目的

足助地域でさまざまな進んでいる内発的發展の動きから深く学びつつ、大学生を含む地域外の若者が地域の発展に寄与・貢献する方策を検討し提起すること。

## 活動内容

今年度は本格的な取組みの助走期間なので、今後の連携の可能性を探ることも含めて、主には次のような取組みを行った。すなわち、連携相手も含めて多種多様な人々・組織が足助地域で実施しつつある「地域おこし」の諸活動・実践から徹底的に学びながら、地域外の若者が「関係人口」として当該地域に関与できるようにする方策を検討・提案した。このことは、「上から目線」で地域の実態に即していない、望ましくない提案にならないために不可欠なことである。そのため、学生が1週間ほど足助地区に滞在し、かなり深いフィールドワークを行った。学生は、「地域の人間関係の豊かさから、都市の人々が〈生き方〉のヒントを得る」ような交流が重要だと気づき、それを具現化した提案を行った。「疲弊する地域」に対して都市の「豊かさ」を分与するという形で提案を考える典型的な思考習慣を超えて、異なる視点からの提案を自ら考えたことに大きな意義があったと考える。加えて、地元高校生との交流や地域での研究提案発表会での発表を行った。

## 活動の成果

- ≫ 地域調査に基づいて、地元の方向けに地域外の若者が関与するための方策を提案した。
- ≫ 地元高校生と交流し、高校生にとって地域外の若者と交流する機会を持った。
- ≫ 地域での研究・提案発表会で研究成果・提案の発表を行った。

## 連携にいたる経緯

過疎化に起因する諸問題を抱える足助地域では、コミュニティを再興して問題解決を図ろうとする様々な活動が勃興しつつあるが、その中で、地域外の若者を関係人口として巻き込もうとする動きが出て来ていた。



研究提案発表会の様子

## 今後の課題・目標・展開の可能性

- ≫ 足助地域における再生可能エネルギー開発の可能性と地域経済への効果の検討。
- ≫ 収益性・効率性と社会目的との衝突・矛盾をマネージする方策の検討。
- ≫ 若い世代の関係人口構築の方策。

政策創造学部 教授 徳丸 宜穂 Tokumaru Norio



人々のウェルビーイングと革新性を両立する、足腰が強い社会経済のあり方を、主に北欧諸国と国内の各地域での先駆的な取組みに学びながら探究している。

